

びび

比布町で収穫される農産物など

|| 写真 ||

平成21年度広報びび4月号から3月号までに
掲載された農産物など



各会では会員を募集しています。
各連絡先または比布町役場総務企画課へ
気軽にご連絡ください。

ふるさと会から

旭川比布同郷会



▲新会長の岩城敏春氏

旭川比布同郷会の総会と懇親会が3月21日、旭川市内で開かれ、会員ら95人が交流を深めました。町からは、伊藤町長、牧野町議会議長ら5人が出席しました。役員改選では、6年間会長を務めた田中寿夫会長が勇退され、新会長に岩城敏春副会長が就任しました。

■会長 岩城敏春さん
 ■総会 約300人
 ■年会費 毎年1回 3500円程度
 ■連絡先 上野哲夫さん
 ☎01666-3315195

札幌比布会



札幌比布会総会・交歓会が7月17日、札幌市内で行われ64人の会員らが参加し、交流を深めました。町から出席した、伊藤町長、山内町議会議員、遠藤(正)町議会議員、佐竹町農協組合長ら8人と、町内からの参加者5人は、会員と懇談し、有意義な時間を過ごしました。また、JAびつぷ町から1キロの米「ほしのゆめ」や、町からはいちご煎餅がお土産として参加者一人ひとりに手渡されました。

■会長 杉尾 信さん
 ■総会 約400人
 ■年会費 毎年1回 5500円程度
 ■連絡先 大西義之さん
 ☎0111-6111-5493

東京比布会



東京比布会総会・交歓会が7月11日、東京都内で行われ77人が参加し、思い出話に花を咲かせました。会員は、町から出席した伊藤町長、佐竹町農協組合長ら4人や、札幌、旭川、比布からの一般参加者3人と懇談し、有意義な時間を過ごしました。お楽しみ抽選会では、比布町の地場産品がJAびつぷ町と町から提供され、当選者は大喜びでした。

■会長 瀬戸徳子さん
 ■総会 約350人
 ■年会費 毎年1回 8000円程度
 ■連絡先 牧野 正さん
 ☎042-7226-11772

3.15 蘭留小で閉校式 109年の歴史に幕

蘭留小学校閉校式(野地馨同校閉校事業協賛会会長)が昨年の3月15日に同校体育館で開かれ、109年の歴史に区切りをつけました。閉校式には、児童12人のほか、来賓や地域住民、同窓生ら約270人が出席しました。伊藤町長が式辞を述べた後、全校児童が声を合わせて「自然がいつばい蘭留小学校、心あつたか蘭留小学校、さよなら蘭留小学校、ありがとう蘭留小学校」と発表しました。最後に、大西教育長が閉式の辞を述べ、同校の一世紀以上にわたる歴史に終えんが告げられました。



△全校児童による思い出などの発表

7.25 旭川比布同郷会 ふる里訪問

旭川比布同郷会が7月25日、会員41人が参加して5年ぶりにふる里訪問をしました。バス2台で突峭山の絶壁やJR比布駅などを見学し、比布神社も参拝しました。バスの中では、町白寿大生による思い出話を交えた町内の移り変わりの説明も行われ、旧東園小学校跡地など、巣立った校舎の跡地を見て感慨深げでした。遊湯びつぷで行われた交流会では、町内の名所などのスライドも紹介され、参加者は「近くにいてもなかなか来る機会がないので、懐かしかった」などと話していました。



△比布神社を見学する旭川同郷会会員

10.28 町内の学校給食に「ゆめぴりか」登場

町内に立地する道立上川農業試験場で開発された道産米新品種「ゆめぴりか」が、中央小学校(171人)と比布中学校(100人)の給食に登場しました。中央小のランチルームに集合した児童は、準備ができた学年から大きな声で「いただきます」のあいさつと同時に、炊きたてでつやのある真っ白い「ゆめぴりか」を口いっぱいほお張り、「もちもちしておいしい」「甘くておいしい」などと話していました。



△報道機関から取材を受ける中央小の児童

12.15 伊藤町長 無投票で再選

12月15日に告示された比布町長選挙は、現職の伊藤喜代志氏以外に届け出がなく、同氏の無投票再選が決まりました。1期目の4年間は、中学生以下の医療費無料化、中央小学校校舎と体育館の新築、浄水場建設など、様々な事業に取り組んできました。1月15日、2期目の町政スタートに当たり、役場議場で町職員約60人を集めて、1期目の経験などを生かし「物の豊かさよりも心の豊かさを感じる事ができるまちづくりを目指す。そして、いつまでも住んでいたい、住んでみたいと感じてもらえるまちにしたい」と強調し、「人と人との心のふれあいがあり、子供たちが元気に走り回り、お年寄りが笑顔で暮らし、互いに支え合い、安全で安心な町、郷土びつぷを誇れる多くの人が暮らすまちづくりに取り組む」と、引き続き子育てや高齢者支援に力を入れる考えを示しました。

まちの出来事 Town News

2009.3-2010.2

- 平成21年3月10日 定額給付金受付開始
- 3月15日 蘭留小学校閉校式を挙
- 3月21日 旭川比布同郷会が総会を開催
- 3月28日 旭川北高校太田一億選手が全国高校少林寺拳法新人大会に出場
- 4月1日 不審者情報「ぼうはんメール」開始
- 4月15日 「びつぷ、ふるさと」元気商品券を販売(12月13日第2段販売)
- 5月3日 中央小の菅野琴音さんが津軽三味線日本一決定戦団体で審査員特別賞を受賞
- 6月1日 住民票の無料宅配を開始
- 6月13日 ビックトウキョウ(株)共催の第1回パークゴルフ大会を開催
- 6月14日 比布ライオンズクラブが結成30周年記念大会を開催
- 6月21日 いちご狩り農園開園
- 7月11日 東京比布会が総会を開催
- 7月17日 札幌比布会が総会を開催
- 7月19日 町夢創塾が第1回びつぷ丸ごと水田・泥んこだらけのバレー大会を開催
- 7月25日 旭川比布同郷会がふる里訪問を実施
- 8月1日 中学生までの医療費を無料化
- 10月1日 町教育委員会委員長に石原敏幸氏新任
- 10月7日 ふれあい団地が国土交通大臣表彰を受賞
- 10月28日 東園・蘭留地区などで無線インターネットサービス開始
- 10月28日 町内の小中学校給食に道産米新品種「ゆめぴりか」登場
- 11月7日 町体育協会が設立50周年記念式典・祝賀会を挙
- 11月10日 舟根徳夫さん(中町)が藍綬褒章を受章
- 12月11日 びつぷスキー場オープン
- 12月15日 伊藤喜代志町長無投票で再選
- 12月19日 中央小の西銘美咲選手と中谷澤菜選手が全国ジュニアソフトテニス大会に出場
- 平成22年1月10日 比布町成人式を挙

歴史を訪ねて

比布町は地勢的にも災害発生が少ない地域ですが、過去には大、小かなりの災害が起きています。このなかでも、比布の火災といえば、昭和5年4月2日に、劇場「比布座」から出火した大火で、比布市街地の中心部51戸を焼きつくし、当時を知る人の語りぐさになっています。今年はその大火からちょうど80年目に当たります。



昭和5年比布大火イメージ

市街一面が焼き野原と化す

比布村では、明治・大正の各年代を通じて著しい天災地変もなく、また特別に大きな火災もありませんでした。

しかし、昭和5年4月2日に比布座(現在の西町3丁目)から発生した火災は、比布市街地の中心部51戸を焼失するという大惨事となりました。

この年は、年明け早々から2件の火災があり、住民の間に大火災への不安が高まっていました。映画上映中の比布座2階の映写室からの出火は、入場していた500人以上の観衆に大混乱を招き、強風にあおられた火はたちまち静かな夜の街をなめつくすように広がったのです。

※比布消防組の敏速な消火活動で、翌朝ようやく鎮火したものの、当時に20万円(現在の約1億2700万円)を越す大災害を与えました。

村始まって以来の大火でしたが、打撃の中から被災者も雄々しく立ち上がり、各新聞がその復興の早さを報じるほどでした。

(参考・比布町開基100年記念誌)

※比布消防組Ⅱ戦前の日本において消防活動を行った非常備の消防機関。現在の消防団にあたる組織。

発行・編集

ふるさと通信『ぴぷ』平成22年3月3日発行(通巻第10号)

■発行 比布町

■編集 総務企画課広報係

☎078-0392 北海道上川郡比布町北町1丁目2番1号

☎0166-85-2111(代表) 0166-85-4802(総務企画課直通)

□ホームページ <http://www.town.pippu.hokkaido.jp>

□Eメール ichigo@town.pippu.hokkaido.jp



平成22年比布消防団出初式

まちの人口

総数	4, 234人
男	2, 001人
女	2, 233人
世帯数	1, 839世帯

■平成22年1月末日現在
住民基本台帳等登録数

比布町ふるさと通信「ぴぷ」は、比布を離られた人と比布を結ぶ情報紙です。
皆さまから、町外で暮らしているご家族やご友人へお届けください。